

■■メールマガジン「静岡県防災」第20号■■

北伊豆地震 「自然の驚異・大地震の痕跡」

1930年（昭和5年）11月26日午前4時2分頃、静岡県伊豆地方を震源とするマグニチュード7.3の北伊豆地震が発生しました。

震源地は、伊豆半島北部・函南町丹那盆地付近。

三島市で震度6を観測したほか、東北地方から九州地方にかけ広い範囲で揺れを感じました。

地震発生が早朝であったため、火災は少なかったものの、死者・行方不明者は272名、家屋全壊は2,165棟にのぼるなど大きな被害となりました。

復興に際しては、各地からの義援金や低利の融資が活用されましたが、甚大な被害に鑑み、天皇皇后両陛下からの恩賜金が一軒に二円ずつ配られました。

現在の貨幣価値に換算すると数千円程度の様ですが、貴重なものとして保管していた家もあり、被災者の心の支えとなったことが想像されます。

・「丹那断層公園」

函南町の「酪農王国オラッチェ」近くの「丹那断層公園」では、北伊豆地震によって生じた断層のずれが保存されています。

左横ずれ断層の活動により、当時の水路が断層に沿って2m程度ずれてしまっている様子がよくわかります。

また、地層の観察施設でも断層の動きを確認することができます。

・「地震動の擦痕（さっこん）」

また、伊豆の国市の江間公園（北条義時屋敷跡と推定されています）には、北伊豆地震の揺れが魚雷に偶然記録された「地震動の擦痕（さっこん）」が展示されています。

北伊豆地震の揺れで、旧江間小学校校庭に展示されていた魚雷がすべり、台座に引っかかれたキズが魚雷の側面に残りました。

天然の地震計のようになったこの魚雷は、人工物でありながら天然記念物に指定されました。

もともと魚雷が展示されていた江間小学校の跡地は、現在は公園になっています。

地震の痕跡を保存することは、地震の記憶を風化させない防災対策の工夫のひとつです。現地で、自然の驚異を感じてみませんか。

【参考リンク】

伊豆半島ジオパークHP：<https://izugeopark.org/>

「丹那断層公園」：<https://izugeopark.org/geosites/tannadanso-park/?cid=B04>

「地震動の擦痕（さっこん）」：<https://izugeopark.org/geosites/minamiema/?cid=B04>